

第6回 常陸大宮市地域公共交通会議

【日時】 令和6年12月16日（月） 午後2時00分～

【場所】 常陸大宮市役所 2階 201～203 会議室

【会議次第】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

協議事項

（1）経路変更に伴う路線の新設等について

【資料1】

（2）交通空白地有償運送の必要性について

【資料2】【資料3】【参考資料1】【参考資料2】

4 そ の 他

5 閉 会

常陸大宮市地域公共交通会議 委員名簿

（令和6年12月16日現在）

	氏 名	役 職 等
1	橋本 弘行	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）
2	小菅 達也	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）
3	関田 純一	茨城交通（株）水戸オフィス 運輸部 運輸担当課長
4	阿久津 修二	奥久慈交通（株） 代表取締役
5	櫻井 忠温	（有）山方観光バス 代表取締役
6	堀江 義彦	（株）美和交通 代表取締役
7	坂井 達也	那北運送（有） 代表取締役
8	高野 裕	（有）大宮タクシー 取締役社長
9	安畠 頼明	新星自動車（株） 営業部長兼太田・大宮営業所長
10	片野 克紀	山方ハイヤー（有） 代表取締役
11	古賀 重徳	一般社団法人茨城県バス協会専務理事
12	服部 透	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会専務理事
13	菅原 康弘	茨城交通労働組合
14	野上 光久	常陸大宮市区長会 会長
15	関 美智子	常陸大宮市校長会副会長、常陸大宮市立大賀小学校 校長
16	堀川 洋	茨城県立常陸大宮高等学校 校長
17	山下 則雄	茨城県立小瀬高等学校 校長
18	一澤 孝夫	茨城県土木部常陸大宮土木事務所 道路管理課長
19	黒澤 正紀	大宮警察署 交通課長
20	鈴木 仁	常陸大宮市商工会 会長
21	佐藤 浩之	常陸大宮市社会福祉協議会 事務局長
22	山田 稔	茨城大学 名誉教授
23	石川 健一	東日本旅客鉄道（株）水戸支社 企画総務部 経営戦略ユニット ユニットリーダー
24	鹿内 秀樹	茨城県政策企画部交通政策課 課長
25	泉 藤男	常陸大宮市地域創生部長

<事務局>

	氏 名	役 職 等
1	大金 正一	地域創生部地域創生課 課長
2	宇野 武寛	地域創生部地域創生課 課長補佐
3	米田 聡美	地域創生部地域創生課 係長

○常陸大宮市地域公共交通会議設置要綱

平成21年3月2日

訓令第7号

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183号。以下「法」という。)の規定に基づき、地域における需要に応じた市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画(以下「交通計画」という。)の作成及び実施に関する協議を行うため、常陸大宮市地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様等に関する事項
- (2) 市営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通計画の策定及び変更に関する事項
- (4) 交通計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (5) 交通計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、交通会議の設置目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 交通会議は、委員35名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者から市長が委嘱又は任命する。

- (1) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局長(第8条第2項第1号において「運輸支局長」という。)又はその指名する者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者(第8条第2項第2号において「事業者」と総称する。)
- (3) 一般社団法人茨城県バス協会の代表
- (4) 一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会の代表
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (6) 市民又は利用者の代表
- (7) 茨城県常陸大宮土木事務所長又はその指名する者
- (8) 茨城県大宮警察署長又はその指名する者
- (9) 学識経験者その他の交通会議の運営上必要と認められる者

(10) 市長が指名する市職員

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任をすることができる。ただし、特定の職により委嘱又は任命された委員の任期は、当該職にある期間とする。

2 委員に欠員が生じた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 交通会議に会長及び副会長各1名を置く。

2 会長は、委員の互選により選出するものとし、副会長は、会長が指名するものとする。

3 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。ただし、委員の委嘱又は任命後最初に開かれる会議は、市長が招集する。

2 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開催できない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決定し、可否同数の場合には議長が決定する。

4 会長は、必要があると認められるときは、交通会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

5 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

(協議結果の取扱い)

第7条 関係者は、交通会議において協議が調った事項について、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(秘密保持)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(運賃等協議分科会)

第9条 一般乗合旅客自動車運送事業の運賃又は料金(次項において「運賃等」という。)に関する事項について協議の必要が生じたときは、その都度、交通会議に運賃等協議分科会(法第9条第4項の協議会をいう。以下この条において「運賃協議会」という。)を設置し、当該協議を行うものとする。

2 運賃協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 運輸支局長又はその指名する者
- (2) 当該協議の対象となる運賃等を定め、又は変更しようとする事業者
- (3) 関係住民の意見を代表する者として市長が指名する者
- (4) 市長が指名する市職員

3 運賃協議会に分科会長を置き、市長が指名する。

4 運賃協議会の会議は、必要に応じて分科会長が招集し、議長となる。

5 第6条第2項から第5項までの規定は、運賃協議会について準用する。

(庶務)

第10条 交通会議の庶務は、地域創生部地域創生課において行う。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年訓令第12号)

この訓令は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成29年訓令第4号)

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年訓令第32号)

(施行期日)

1 この訓令は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この訓令の施行の際現に在職する常陸大宮市地域公共交通会議の委員は、この訓令による改正後の常陸大宮市地域公共交通会議設置要綱第3条第2項の規定にかかわらず、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。

附 則(令和2年訓令第13号)

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年訓令第14号)

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則(令和6年訓令第2号)

この訓令は、公布の日から施行する。

協議事項（１）経路変更に伴う路線の新設等について

協議内容

茨城交通株式会社が運行する路線バスの一部について、運行経路の変更の申し出がありましたので、国土交通省関東運輸局へ許認可申請・届出を行うため、協議を行うものです。

路線名	「大宮駅～常陸大宮高校～小瀬高校」線
内容	経路変更 (路線の新設・廃止、系統の廃止・新設)
変更理由	既存の運行経路の一部が狭隘であることから、安全確保のため運行経路を変更する。
実施予定日	令和 7 年 4 月 1 日 (火)



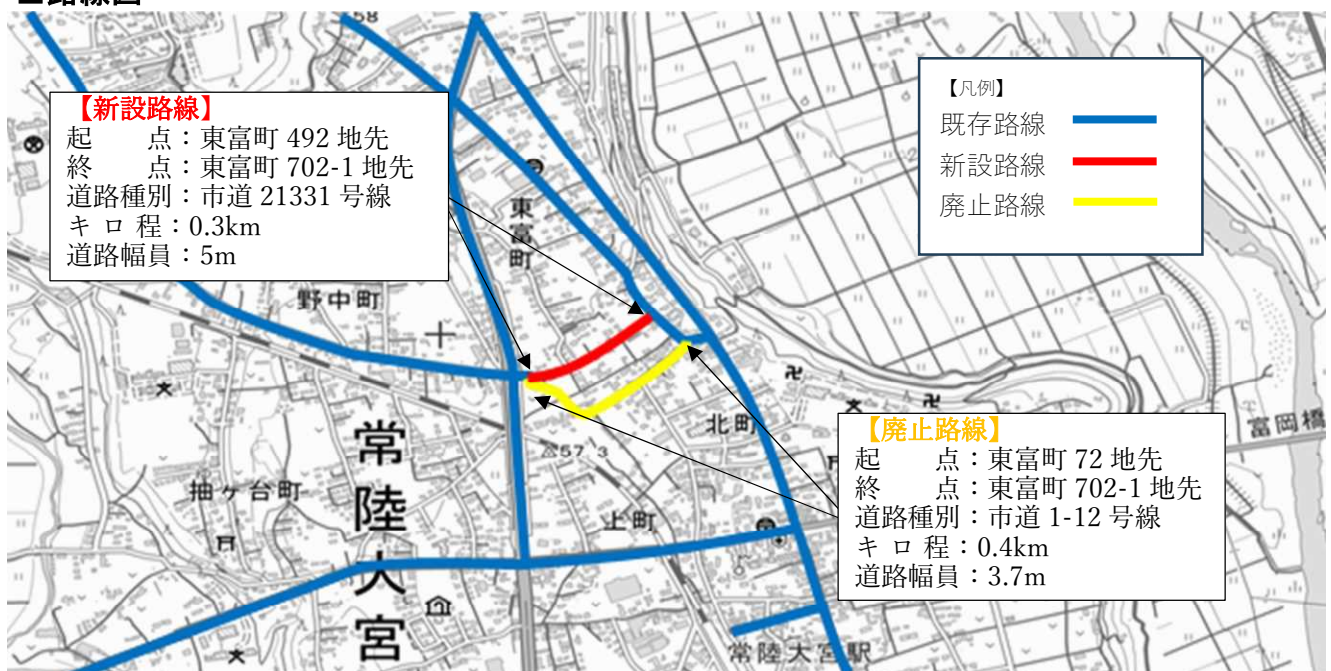
<運行経路の変更>



(1) 路線の新設・廃止

新設する路線	起点：常陸大宮市東富町 492 地先 終点：常陸大宮市東富町 702-1 地先 道路種別：市道（21331 号線） キロ程：0.3km 道路幅員：5m
廃止する路線	起点：常陸大宮市東富町 72 地先 終点：常陸大宮市東富町 702-1 地先 道路種別：市道（1-12 号線） キロ程：0.4km 道路幅員：3.7m

■ 路線図



(2) 系統の廃止・新設

運行事業者	茨城交通株式会社
対象路線	「大宮駅～常陸大宮高校～小瀬高校」線
路線の概要	系 統 番 号 062109 起 点 大宮駅 主な経由地 常陸大宮高校前、玉川十文字 終 点 小瀬高校前 キ ロ 程 13.0km 便 数 1 便
廃止・新設の理由	既存の運行経路の一部が狭隘であることから、運行経路を変更するため、系統を廃止・新設するもの。
実施予定日	令和7年4月1日（火）



※今回の系統の廃止・新設により、系統距離や所要時間に変更はありません。また、経路を変更する区間には停留所は設置していません。

※運賃については、平成 31 年 3 月 20 日付常陸大宮市公共交通会議において協議が調った運賃（市内一律 200 円）を適用するものとして、別途常陸大宮市地域公共交通会議運賃協議分科会にて協議を行う。

【参考】時刻表：「大宮駅～常陸大宮高校～小瀬高校」線

大宮駅～常陸大宮高校～小瀬高校	JR水郡線【水戸方面】接続	8:07
	JR水郡線【大子方面】接続	8:10
	停留所名	発
	大宮駅前	8:13
	大宮十文字	8:14
	北二丁目	8:14
	野中	8:16
	総合庁舎入口	8:16
	常陸大宮高校前	8:17
	富士山団地	8:17
	田子内	8:18
	旧大宮一中前	8:18
	八田	8:19
	水引	8:20
	大宮北小学校入口	8:22
	玉川十文字	8:23
	仲坪	8:24
	東野	8:25
土日祝運休	旧塩田小学校入口	8:27
	曲松	8:29
	白谷峠	8:30
	小瀬山口	8:31
	上小瀬丁字路	8:31
	上小瀬十文字	8:32
	小瀬高校前	8:38
	停留所名	着

交通空白地有償運送の必要性について

1. 交通空白地について

(1) 地域交通の現状と取組の方向性

- ・全国各地で、バスやタクシー等による輸送サービスの提供が難しく、地域住民や来訪者が利用できない交通不便地域である「交通空白地」が発生しています。
- ・国土交通省では、「公共ライドシェア」や「日本版ライドシェア」など、地域交通を支える新しいツールなども積極的に導入し、「交通空白」を解消していく必要があると方向性を示しています。
- ・令和6年7月に「交通空白」解消本部（本部長：国土交通大臣）が設置され、自治体や交通事業者とともに、「交通空白」の解消に向けた取り組みを進めることとしています。

■第1回「交通空白」解消本部 ※会議資料より「地域交通の現状と取組の方向性」を抜粋

- ・人口減少及び高齢化が全国的に進む中、免許返納した高齢者をはじめ移動手段の確保に対する不安が高まっている。
- ・乗合バス・鉄軌道路線の減便・廃止やバス・タクシードライバーの減少が進み、公共交通の確保は危機的な状況。
- ・今後、交通空白地、地方中心都市、大都市などそれぞれの地域事情ごとに、「移動の足」の確保に向けた取組が求められる。
- ・その際、制度拡充された「公共ライドシェア」（自家用有償旅客運送）や、本年4月に創設された「日本版ライドシェア」など、地域交通を支える新しいツールなども積極的に導入し、「交通空白」を解消していく必要。

(2) 交通空白地有償運送について

- ・過疎地域や交通が著しく不便な地域において、実質的に交通事業者によって当該地域の住民又は来訪者に必要な旅客輸送の確保が困難となっている状況である場合は、交通空白有償運送の必要性が認められるとされています。
- ・次に掲げる公共交通の目安の場合は、「交通空白地に該当することを前提に、交通空白地有償運送の必要性を公共交通会議において判断することが望ましい」とされています。

※令和6年9月30日通達改正（国自旅第198号）抜粋

【参考】交通空白地有償運送とは

<自家用有償旅客運送>（道路運送法第78条第2号）

- ・バス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合、市町村やNPO法人などが自家用車を活用して提供する有償の旅客運送。
- ・省令において「交通空白地有償運送」「福祉有償運送」を規定。

<交通空白地有償旅客運送>（住民等のための自家用有償旅客運送）

バス・タクシー事業者のサービス提供が困難な地域において、地域住民、来訪者の輸送を行うもの（乗車定員規定なし）。

<交通空白地の目安①> ※令和5年12月28日通達改正（国自旅第265号）抜粋

- ① 半径1キロメートル以内にバスの停留所及び鉄道駅が存しない地域であって、タクシーが恒常的に30分以内に配車されない地域
- ② 当該地域における一般旅客自動車運送事業者（バス、タクシーなど）・鉄道事業者の営業時間外

※上記①、②に該当しない地域でも、地域公共交通会議で協議が整えば交通空白地に該当。

<交通空白地の目安②> ※令和6年4月26日通達改正（国自旅第71号）抜粋

移動を希望する者が、恒常的に、許容可能な時間内（※）に公共交通を利用できない地域・時間帯

※地域住民や観光旅客のニーズに基づいて導出。少なくともタクシーが恒常的に30分以内に配車されない地域は交通空白地に該当するが、アンケート調査や地域の実情（高齢化率及び独居率といった人口構造の特性、勾配など地理的特性等）を踏まえた市町村長又は都道府県知事の判断により30分未満とすることも考えられる（例えば15分など）。

2. 常陸大宮市における交通空白地

- ・ 常陸大宮市は、大宮地域を除く4地域（山方地域、美和地域、緒川地域、御前山地域）が過疎地域として指定されております。また、高齢化率は全国平均を大きく上回り推移をしております。
- ・ 本市は面積が広く、居住地が点在している地域特性のため、駅や交通事業所（営業所）から移動距離や時間がかかることから、輸送サービスの提供が難しい地域があります。
- ・ 自宅から最寄りのバス停留所や駅までが遠距離であり、また、公共交通の運行時間が限られるなど交通に不便をきたしている地域があります。

（1）公共交通の現状

- ・ 常陸大宮市の公共交通ネットワークは路線バス、乗合タクシーが中心となっています。特に、乗合タクシーは市内全域をドアツードア方式（自宅から目的地、目的地から目的地までを輸送）で運行しており、本市公共交通の基軸となっています。
- ・ 路線（行き先）や運行ダイヤ、運休日時により、路線バスや乗合タクシーが利用できない地域や時間帯が存在します。

<各公共交通の現状>

① 乗合タクシー

- ・ 日曜、祝日は運行していない。早朝、夜間は運行時間外となっている。
- ・ 土曜日は稼働台数が少ない。

② 路線バス

土曜、日曜、祝日は1路線（大宮駅～ささの湯～北斗星）のみの運行。

③ タクシー

営業所は「大宮地域」、「山方地域」に所在している。

※過去には「美和地域」、「御前山地域」にタクシー営業所が存在していた。

【参考】公共交通の運行状況

①公共交通の運行イメージ



図1「常陸大宮市内の公共交通マップ」

②乗合タクシー

項目	内容
運行エリア	市内全域
運行日	月曜日から土曜日 ※12月28日から1月3日は除く
運行時間	平日：8時から20時 土曜日：9時から17時
運行台数	平日（8時から16時まで）：12台 平日（16時以降）・土曜日：2台

③路線バス

系統	運休	発時刻	発地	着地
大宮駅前～ささの湯～北斗星	—	9:10	北斗星	大宮駅前
	—	10:10	大宮駅前	北斗星
	—	11:40	北斗星	大宮駅前
	—	13:55	大宮駅前	北斗星
	—	15:30	北斗星	大宮駅前
大宮駅前～長沢～高部車庫	土/日/祝	6:25	高部車庫	大宮駅前
		17:00	大宮駅前	高部車庫
大宮駅前→上小瀬十文字→境橋	土/日/祝	14:54	大宮駅前	境橋
		15:44	上小瀬十文字	大宮駅前
大宮営業所～那珂川大橋～小瀬高校	土/日/祝	7:17	大宮営業所	小瀬高校前
		16:45	小瀬高校前	大宮営業所
		19:00	上小瀬十文字	大宮駅前
大宮駅～常陸大宮高校～小瀬高校	土/日/祝	8:13	大宮駅前	小瀬高校前

④タクシー

事業者名	所在地	登録台数
(有) 大宮タクシー	常陸大宮市南町 958-6	8台
新星自動車(株) (大宮営業所)	常陸大宮市栄町 1219-1	13台
山方ハイヤー(有)	常陸大宮市山方 831-9	4台

【参考】市内公共交通の輸送サービス分布

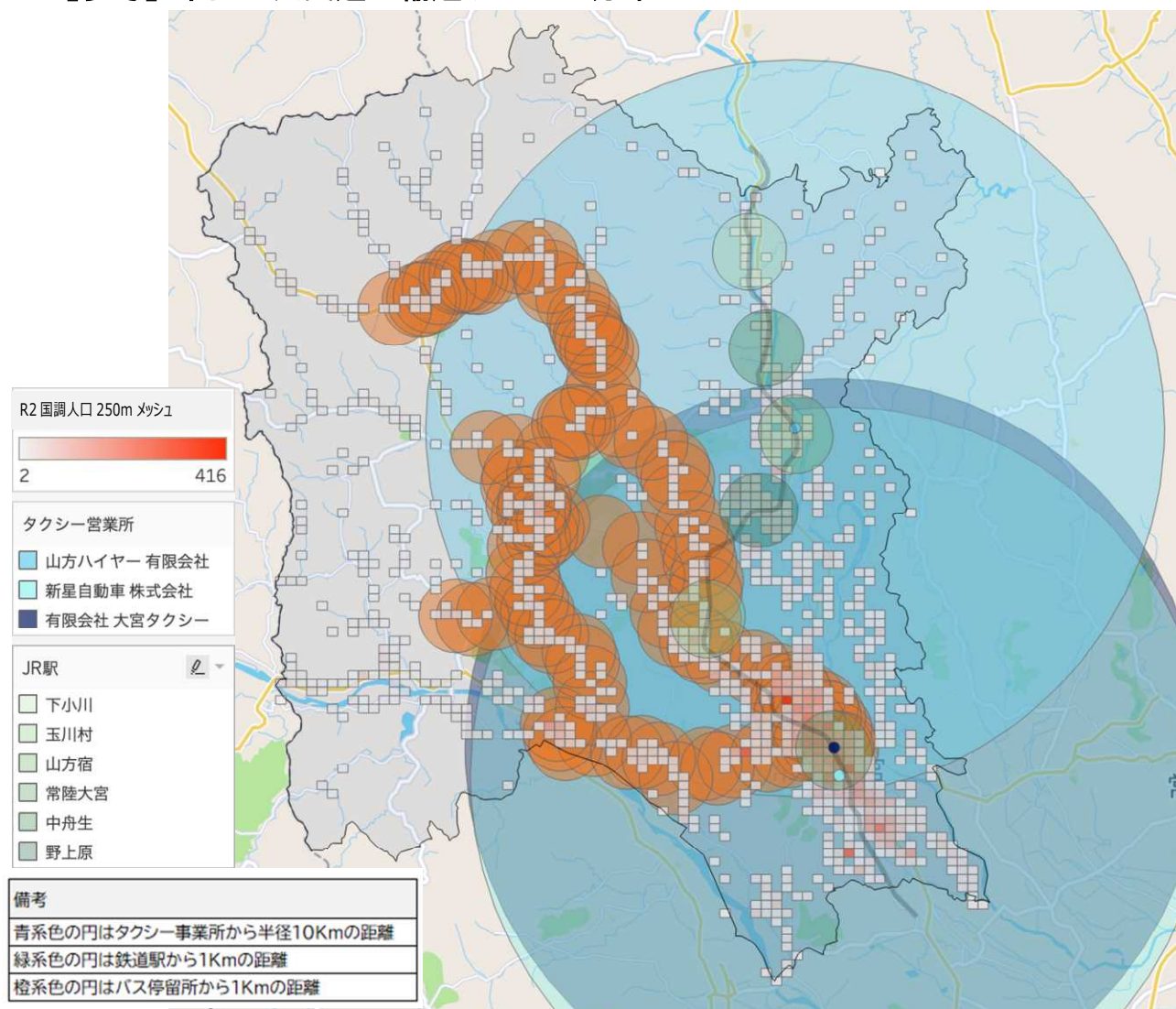


図2 「常陸大宮市内の輸送サービス分布図」

(2) 移動ニーズ

令和6年7月に実施した「乗合タクシー利用登録者」に対するアンケートでは、運行に関する不満な点として「運行時間」及び「運行日」の回答が多く挙げられ、運行の拡充が求められております。

なお、乗合タクシーは、日曜、祝日が運休、8時以前及び20時以降は運行時間外となっております。

【再掲】乗合タクシーの運行内容

項目	内容
運行エリア	市内全域
運行日	月曜日から土曜日 ※12月28日から1月3日は除く
運行時間	平日：8時から20時 土曜日：9時から17時

（３）常陸大宮市の交通空白地（時間帯、地域）

公共交通の現状や地域の実情、日常生活における移動の必要性やニーズなどを踏まえ、本市では以下のとおり交通空白地が発生しています。

＜交通空白地（時間帯、地域）＞

① 時間帯

- ・ 土曜日、日曜日、祝日（概ね８時から１７時）
- ・ 平日早朝及び夜間（６時から８時、２０時から２４時）

② 地域

「美和地域」、「緒川地域」、「御前山地域」

※ただし、夜間（２０時から２４時）は「大宮地域」、「山方地域」も交通空白の地域となり「市内全域」が交通空白地となる

４．交通空白の解消と交通空白地有償運送の導入

本市では、土・日・祝日において市内の「美和地域」、「緒川地域」、「御前山地域」が交通空白地となっており、夜間に限っては市内の全域も交通空白地といえます。

また、乗合タクシーの運行日時の拡充を希望するニーズがあるなど、交通空白の解消に向けた対応が必要です。

（１）交通空白の解消における課題

交通空白の解消を図るには、各公共交通の運行内容の充実などによる輸送サービス提供が求められます。しかしながら、以下の点などが課題として挙げられ、交通空白の解消に向けた輸送サービスの提供は難しい状況であります。

■交通空白の解消に向けた対応と課題

対応策	課題等
①乗合タクシー ・ 運行日時の拡充 （日曜・祝日、早朝・夜間の運行） ・ 土曜運行台数の増車	→ ・ 運転手不足、運転手の高齢化などにより運転手の確保が困難 ・ 財政負担の増加
②路線バス 路線の新設、増便	
③タクシー 交通空白地へのタクシー営業所の新設	→ 予定なし

【再掲】＜各公共交通の現状＞

＜各公共交通の現状＞

① 乗合タクシー

- ・ 日曜、祝日は運行していない。早朝、夜間は運行時間外となっている。
- ・ 土曜日は稼働台数が少ない。

② 路線バス

土曜、日曜、祝日は１路線（大宮駅～ささの湯～北斗星）のみの運行。

③ タクシー

営業所は「大宮地域」、「山方地域」に所在している。

※過去には「美和地域」、「御前山地域」にタクシー営業所が存在していた。

(2) 交通空白地有償運送の導入

バス事業やタクシー事業による輸送手段の確保が困難であることから、交通空白を解消し移動手段を確保するためには、市町村が自家用車を活用して提供する有償の旅客運送である「交通空白地有償運送（道路運送法第78条2号）」の運行が必要であると考えております。

なお、交通空白地有償運送の運行形態は、以下の現状を考慮し、タクシーを補完する観点での、一般ドライバーや地域の自家用車を活用する運行※を導入いたします。

※本市では、この運行形態を「公共ライドシェア」と呼称いたします。

<現状・課題>

- ・ 普通自動車第二種運転免許を有する「運転手が不足」している。
- ・ 可住地面積が広く、バス停などを設置した定路線運行が困難。
- ・ 公共交通として乗合タクシーや福祉タクシー制度が多く利用されている。

【参考】地域公共交通のメニュー

事例	特徴	運送法上の分類	備考
路線バス	・ 定時定路線 ・ 一定規模の需要がある場合	一般乗合旅客自動車運送事業	
コミュニティバス/ 乗合タクシー/ デマンドタクシー	・ ある程度需要がまとまって発生する場合 ・ 定時定路線 ・ 路線不定期	一般乗合旅客自動車運送事業	
	・ 需要が分散している場合 ・ 区域運行(路線を定めず予約に応じて運行)	公共ライドシェア (自家用有償旅客運送)	一般ドライバー・ 自家用車の活用可
タクシー	・ 一定規模の需要に対応	一般乗用旅客自動車運送事業	
タクシーの 運賃低廉化	・ 行政が対象者にタクシー券を配布するなどして、メーター運賃の一部を負担		
タクシーの補完	・ タクシー事業者の管理の下で、一般ドライバー・自家用車でタクシーを補完	日本版ライドシェア (自家用有償旅客運送)	一般ドライバー・ 自家用車の活用可
(無償) 送迎バス等	・ 利用者からは運賃を取らず、自治体や宿泊施設等が運行する ・ 利用者からは運賃を取らず、自治体等が運賃を負担して運送事業者に委託する	(自ら運行する場合) ・ 自家用 (委託する場合) ・ 一般貸切旅客自動車運送事業 ・ 一般乗用旅客自動車運送事業 ・ 特定旅客自動車運送事業	一般ドライバー・ 自家用車の活用可

※出典：「(茨城県) 地域の交通課題の解決に向けたワーキングチーム (第4回)」資料を編集

【参考】道路運送法の法体系

区分		種類	種別	運行の様別	代表的な運行形態	
事業 緑用 ン（旅 バ客） 1客	旅客自動車運送事業 (法 § 2)	一般旅客自動車運送事業 (法 § 3)	一般乗合旅客自動車運送事業 (法 § 4)	路線定期運行 (省 § 3 の 3)	・路線バス ・高速バス ・コミュニティバス ・乗合タクシー	
				路線不定期運行 (省 § 3 の 3)	・コミュニティバス ・乗合タクシー ・デマンド型交通	
				区域運行 (省 § 3 の 3)		
				一般貸切旅客自動車運送事業 (法 § 4)		・貸切バス
				一般乗用旅客自動車運送事業 (法 § 4)		・タクシー
		特定旅客自動車運送事業 (法 § 43)			・工場従業員等の送迎バス	
国土交通大臣の許可を受けた場合等における、貸切バス事業者、タクシー事業者による乗合旅客の運送 (法 § 21)						・鉄道代行バス ・イベント送迎シャトルバス ・自治体の要請による実証運行
白 ナ 自 家 用 バ ス 1	自家用自動車による 有償の旅客運送 (法 § 78)	自家用有償旅客運送 (法 § 79)	交通空白地有償運送 (省 § 51)		・交通空白地有償運送 (自治体バス)	
			福祉有償運送 (省 § 51)		・福祉有償運送	
		国土交通大臣の許可を受けて行う運送 (法 § 78)			公共ライドシェア	
		災害のため緊急を要するときに行う運送 (法 § 78)			日本版ライドシェア	

法＝道路運送法、 省＝道路運送法施行規則

※資料：「(関東運輸局) がんばる地域応援プロジェクト2024」を編集

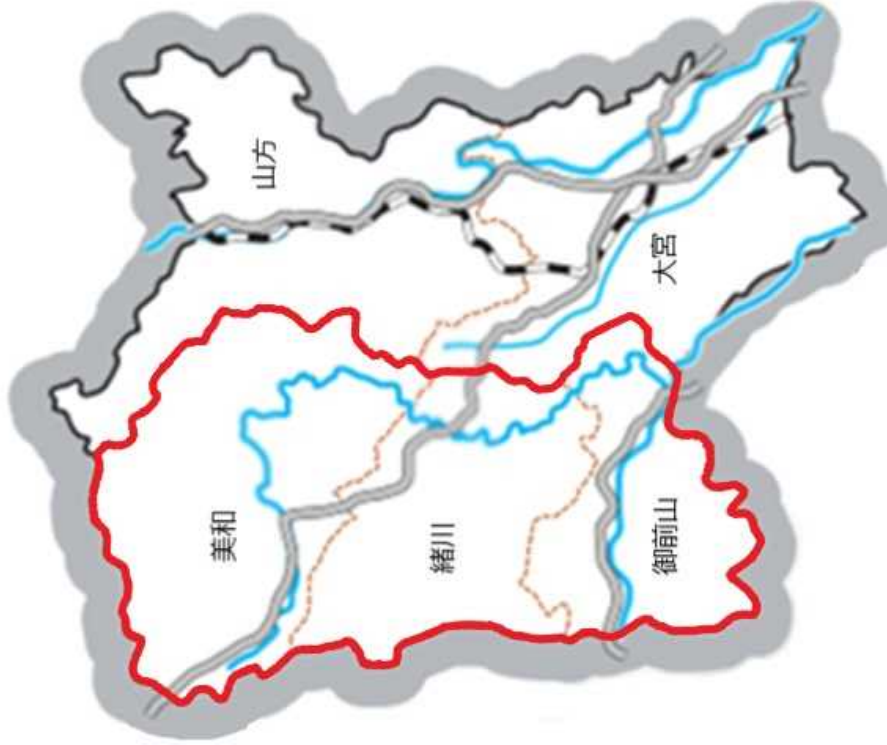
【参考】制度の比較

区分	タクシー事業	自家用有償旅客運送 (公共ライドシェア)	自家用車活用事業 (日本版ライドシェア)
道路運送法	4 条	78 条 2 号 (自家用有償旅客運送)	78 条 3 号 (公共の福祉を確保するため国が許可)
運営主体	民間	市町村、NPO などの非営利団体	タクシー会社
事業内容	事業自動車による旅客運送 (許可制)	自家用自動車による旅客運送 (登録制)	自家用自動車による旅客運送 (許可制)
対象地域 (営業区域)	営業所の所在地にもとづいて国が指定する営業が許可された区域	過疎地や時間帯によって移動手段が確保できない地域	タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定し運営
運転免許	2 種	1 種 + 認定講習	1 種 + タクシー会社独自講習
車両	タクシー	タクシー、バス、公用車、自家用車など	タクシー、自家用車
運賃等	メーター運賃	実費の範囲内 (タクシー運賃の 8 割を超えない)	タクシー運賃と同額

常陸大宮市公共ライドシェアの運行概要（案）

項目	内容等
事業主体	常陸大宮市
運行形態	道路運送法第78条第2号（自家用有償旅客運送制度） ドアツードア方式
運送区域	常陸大宮市内 （ただし、美和、緒川、御前山のいずれかの地域を発地または着地すること）
運行日時	【土曜、日曜、祝日】 8時から17時まで ※年末年始（12月28日から1月3日を除く）
対象者	制限なし（市民、来訪者）
運賃	調整中（市のタクシー料金助成制度の金額を目安）
ドライバー	市内在住者（21歳～70歳まで）15名程度
車両	稼働台数3～4台（ドライバー所有の自家用車、市所有車両）
利用方法	専用アプリ、電話予約
実証期間	1年程度（令和7年10月運行開始を予定）

運行区域のイメージ図



※赤線枠内地域で発地または着地する

運行開始までの想定スケジュール

実施項目	R6.12月	R7.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
システム導入	制度設計	システム選定 (プロポーザル審査)		業務委託契約	要件定義・導入設定			システム研修		システム運用開始	
	制度設計・事業者意向確認			業務委託契約	実証運行に向けた準備			管理業務開始			
ドライバー関係	制度設計	募集開始（応募人数により随時募集）									
	大臣講習・システム研修										
申請関係	運輸局に登録申請										
周知・利用促進	利用者への周知・利用方法の説明										
地域公共交通会議	運行案の提案	正式協議		※必要に応じ開催 (運行内容を協議する場合)			導入の進捗状況				